

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	運動公園-女17
----------	----------

年月日	2022 年 7 月 31 日 (日)
大会名	令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会 高松宮記念杯 第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

公 式 記 録 用 紙

A	府立洛北高等学校										県立清峰高等学校						B			
都道府県	愛媛県					市町村	松山市					会場	愛媛県総合運動公園体育館					回戦	2回戦	
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 シテス	A	B						
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B			7m得点/総数								
	1/1		1	2	3				1	2 後	3	6/7								
									0943	1447	2240									

No.	洛北	G	W	2'	D	DR	No.	清峰	G	W	2'	D	DR
1	川崎 麻央						1	中村 綾乃					
2 c	田中 志織	3	1	1			2 c	吉原 虹羽	3				
3	烏藤 梨花	4					3	加藤 杏菜	1				
4	桐村 光優	6	1				4	樫本 麻耶	7				
5	中尾 藍	2					5	山本 心絢	3				
6	小川 優花	9					6	友廣 愛美					
7	鎌倉 明日香						7	松山 彩菜	4				
8	大宮 万葵	1					8	稲津 碧惟					
9	田村 由佳						10	山口 翔子	4				
10	西垣 晴菜	3					11	谷脇 珠寧					
11	岩木 ひなた						12	村上 砂羽					
12	奈良 明音						13	伊藤 陽菜					
13	有本 都恵	1		1			14	北原 由菜					
16	小林 由加子						16	森園 侑未					
監督A	西村 純						監督A	金子 慎吾					
役員B	伊藤 正						役員B	平澤 萌樺					
役員C	佐藤 楓夏						役員C	金子 弘明					

A	西村 純	チーム役員A署名	金子 慎吾	B
特記事項				

レフェリー	長谷川 将規	牛島 卓也	長谷川 将規	牛島 卓也
TD	齋藤 崇	川田 哲也	齋藤 崇	川田 哲也
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年7月31日(日)		会場	愛媛県総合運動公園体育館	
種別	女子		回戦	2回戦	
チーム名			チーム名		
府立洛北高等学校(京都)			県立清峰高等学校(長崎)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
29	16	前半	10	22	
	13	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

昨年度末の全国選抜大会を制した洛北に清峰が挑んだ。洛北②田中の速攻で先制すると洛北⑩西垣のミドルシュートで連取。清峰は洛北の堅いディフェンスの前にミスが続き、清峰⑤山本のポストシュートで1点を取るが、9分過ぎ6対1となつたところで清峰がチームタイムアウト。落ち着きを取り戻した清峰は③加藤のサイドシュート、④樫本の7mT、⑩山口の速攻などで反撃開始。洛北⑤中尾のサイドシュート、④桐村の速攻で再びリードをするが、清峰⑦松山のカットインシュート、⑤山本の速攻、④樫本の7mTで10対9。しかし地力に勝る洛北は、ここから⑥小川のカットイン、③烏藤のサイドシュートなどで5点連取し、16対10で前半終了。

後半立ち上がり、互角の攻防を見せた。10分すぎ、洛北②田中の退場で清峰④樫本の7mT(この試合5本目)を決め、15分清峰④樫本のディスタンスシュートで3点差とし流れをつかんだかと思われたが、洛北⑥小川のポストシュートで取り返し、優位を守った。22分過ぎ洛北③有本の速攻で24対19と5点差とすると、28分、洛北②田中のフェイントからのカットインシュートで6点差とし勝敗を決めた。